

とうとう夏休みがなくなってしまった。2学期は生徒会2大行事があります。その一つが笠工祭。外部からも多くのお客さんが来て盛り上がります。そのためには、催し物を準備しなくては・・・。とは言っても、1年生には工業高校の文化祭はちょっと分かりにくい。決して中学校の文化祭と一緒にしないように・・・。参考のため昨年のもを紹介しします。

今年の笠工祭も盛り上げよう

笠工祭を盛り上げるためには、いい作品を作ることです。そのために一番大切なのは企画。いい企画を考えるためのキーワードを紹介します。まずはじめに「規模の大きさ」です。教室に入ったら「えっ!!」ってお客さんが驚くぐらい大きな作品はどうでしょうか。また、「数の大きさ」も大事です。教室に足の踏む隙間もないくらい作品があれば、お客さんも驚きます。そして、一番大事な事は「企画の大きさ」でしょう。いくら優秀な人が2、3人いてもスゴイ事はできません。クラス40人が協力して作り

- 成功へのキーワード
- ① 規模の大きさ
 - ② 数の大きさ
 - ③ 企画の大きさ

展示発表



上げるような企画は、お客さんに感動を与える事でしょう。また、工業高校らしい「ものづくり」を取り入れれば、お客さんの心をわしづかみにできます。それ以上にクラスの全員でやり遂げたという達成感は一生の思い出に残る事でしょう。



ここに映像と動く影絵が映る

プシュッー!!



←展示の部 第2位
部屋に入るとそこには：夜景が…。修学旅行で感動した函館の夜景を再現。

→展示の部 第3位
教室が異空間に：秋と冬の風景をロボットや光を使って再現。ここは本当に教室なの？と言いたくなる作品。



入れえええ!

←工業高校のものづくりを活かして○○フレンドパークを再現。

舞台発表



←舞台発表では本格的な劇や映画、ダンスなど趣向をこらしたものが多い。ただし、人気があるため4クラスまでしか発表はできない。今年はどんな作品を見せてくれるか楽しみだ。



↑電気情報科は専門性を活かしてLEDを使ったプラネタリウムを作った。青白い光は幻想的だった。→お金を使わなくて頭を使えば、教室を異空間に仕上げることはできる。地域のスーパーからダンボールをいただき迷路を製作。



↑教室中にシーサーが、修学旅行で仕入れた情報を使って、教

どこが出口じゃ〜

↓どっかで見たような題名だがなかなか力の入った映画。何週間もかけて撮影…。



↑展示の部 第1位
実習室の中にコロッセオが浮かび上がる。また室内に施されたサウンドアート。霧や光の演出で見せる芸術作品。今回は動く影絵と映像のコラボ。ピラミッド、パルテノン神殿に続く、世界遺産シリーズ第3弾。



スゴイ数だあ

←ペットボトルアート
とんでもない数のペットボトルを集めてピラミッドを作り上げた。スゴイの一言。よくこれだけペットボトルを集めたなあ〜



孫悟空とセルが来たぞあ

→文化祭では何故か女の子が増える...?歌って踊って...でも、その衣装どこから調達したの?

